

第31回研究会のご案内

「インフラ投資」は中国経済の切り札になるのか

中国経済に陰が見えています。米中貿易戦争の影響もありますが、10年前のリーマン・ショック時に世界経済を下支えするために4兆元の景気対策を発動したことで資金調達が急膨張、負債残高の増大が続いているためです。政府・民間合わせた負債はGDP比で2.5倍を超えていることをあり、中国経済のアキレス腱とさえ言われています。こうした中で中国政府は、足下ではインフラ投資の伸びを下げっていますが、中長期的には先端技術分野での競争力強化と併せて一帯一路などインフラ投資を強めようとしています。果たしてインフラ投資は中国経済の切り札になるのでしょうか。

今回は豊富なデータをもとにした中国経済分析で定評のある専修大学経済学部准教授の徐一睿氏にインフラ投資をキーワードにして中国経済の現状と行方について論じていただきます。徐氏は16年12月に「中国—超格差社会からの脱出は可能か」という演題で講演いただきました。2度目の講演となります。

皆様方のご出席をお待ちしております。

- ◎日時 **2019年4月6日（土）14時～17時**
- ◎場所 **専修大学神田校舎（予定）**
- ◎講師 **徐一睿氏（専修大学経済学部准教授）**
- ◎資料代 **500円**

※講演終了後、講師を交え懇親会を行う予定です。

徐一睿氏のプロフィール

専修大学経済学部准教授。専門は財政学、中国経済。2003年慶應義塾大学経済学部卒業、2009年同大学経済学研究科博士課程修了（経済学博士）。慶應義塾大学経済学部助教、嘉悦大学経営経済学部専任講師を経て、2014年現職。2013年上海财经大学公共政策与治理研究員客員研究員、2014年上海金融学院客員教授。著書に『中国の財政調整制度の新展開—「調和の取れた社会」に向けて』（日本僑報社、2010年、第8回華人学術賞・第11回日本地方財政学会佐藤賞受賞）、『中国の経済成長と土地・債務問題—政府間財政システムにおける「競争」と「調整」』（慶應義塾大学出版会、2014年）など多数。Facebookで発信中。



お問い合わせは現代の理論・社会フォーラム事務局
TEL 03-3262-8505 E-mail:nc@keizaiken.sakura.ne.jp まで

経済分析研究会

検索